

学生企画活動支援事業紹介

学生企画活動支援事業とは、学生が自ら企画する事業の内、優れたものに対して大学が経済的支援等を行い、学生自身に実体験させることで、学生の企画力・実践力・社会性を高め、優れた教員等の養成に資することを目的としたもので、平成16年度から実施しています。

今回は、「楽器ふれあいコンサート」「作ってハッピー☆造形ひろば」「ウィンターキャンプ」「ESD実践勉強会」の活動を紹介します。

楽器ふれあいコンサート



「楽器ふれあいコンサート」は、実際に幼稚園や保育園・福祉施設を訪問し、生の演奏（吹奏楽）を聴かせることにより、音楽を楽しみ、より親しんでもらうことを目的としています。普段からCDやテレビ、携帯電話やインターネットなどといったものを通じて音楽に触れているとは思いますが、実際に生の音楽を聴く機会は少なくなっているため、この企画を通して生の音楽に触れてもらいたいという思いで実施しています。今年度は夏休みや春休みの期間を利用し、奈良市内の幼稚園6ヶ所、奈良市内・天理市内の保育園5ヶ所、子育て支援センター1ヶ所、認定こども園3ヶ所、介護老人施設1ヶ所の計16ヶ所を訪問し、演奏させていただきました。この企画では演奏や普段なかなか触れることのない楽器に実際に触ってもらう「楽器体験」の他に、今年度は新たな試みとして園児に指揮棒を振ってもらい私達が演奏する「指揮者体験」や、曲に合わせて掛け声やリズムゲームなども行いました。訪問先の担当者の方からも、「音楽に興味を示し、参加しながら楽しむことができた」、「音楽に親しむ素晴らしい機会になった」といったお言葉をたくさんいただき、私たち自身も音楽の力の偉大さを感じることができました。私たちはこれからもたくさんの方に音楽の素晴らしさを感じていただけるように活動していきたいと考えています。

（記事：音楽教育専修3回生 立花 由理美）

作ってハッピー☆造形ひろば



造形ひろばは地域の子どもたちと造形あそびや作品づくりを通してふれあう活動です。本企画は大学祭の日に開催しており、今年で15回目を迎えることができました。毎年、本大学の附属小学校・中学校の子どもたちだけでなく、地域の学校の子どもたちにも多く参加していただいています。毎年恒例のハイクレイを使用した粘土あそびを中心に、今年は仕掛け絵本、万華鏡、下敷き、蓄光絵具を利用した光る絵を作ることができるスペースを用意し、たくさんの幅広い年齢の子どもたちに参加していただきました。子どもたちは学生スタッフに教えてもらいながら、実際に材料に触れて試行錯誤してつくることで、つくることの楽しさを味わうことができ、ひとつのものを自分の力でつくりあげた喜びを味わうことができたと思います。本企画のスタッフも子どもたちとのふれあいの中で、良い学びを得ることができました。また造形ひろばには保護者の方にも多く参加していただいております。保護者の方からも大変好評をいただきました。

今年も、開催場所となる306教室はたくさんの子どもたちで賑わい、楽しそうに活動する子どもたちの様子が見られ、大成功を収めました。来年度も、さらにこの活動を盛り上げていきたいです。

（記事：美術教育専修 平成28年3月卒業生 前田 優希）

ウィンターキャンプ



ウィンターキャンプは、障がいのある子どもとその家族と一緒に1泊2日のキャンプを行うという企画で、普段はできないような活動を通して学生と子どもが共に成長し、参加者全員が心から楽しめるような場にしていこうという目的のもと、実施しています。

今年度も2月13日から14日にかけて今庄365スキー場へ1泊2日のキャンプに行ってきました。暖冬の影響が1月中旬ごろまで雪がないという状況で、さらに当日も雨の予報と、この企画を実施できるかという不安もあったのですが、大きなけがもなく無事2日間の活動を終えることができました。1日目は雨の予報ははずれ、外でそり遊びや雪合戦を行うことができ、子どもや学生が雪とたわむれて楽しむ姿を見ることができました。そして2日目は残念ながら雨が降ってしまい屋内での活動となりましたが、普段と違う環境の中、さまざまなレクリエーションを行い、楽しむことができました。

このキャンプで2日間を共に過ごすことで、参加者同士の関係が深まり、共に成長したり、楽しみを共有したりする仲間ができたのではないかと感じています。

子どもたちの笑顔がたくさん見られ、また子どもの成長を喜ぶ保護者の方の声も聞くことができ良かったです。

（記事：国語教育専修3回生 西村 元気）

ESD実践勉強会



ESD実践勉強会は今年度はじめて採択された活動です。ESDという言葉を知ったことがあるでしょうか。日本語では「持続可能な開発のための教育」というふうに翻訳される言葉です。ESDは、同世代の人たちも、未来世代の人たちも不自由のない暮らしをしていけるような社会をつくるための教育です。

奈良教育大学では、大学として初めてユネスコスクールに加盟するなど、ユネスコ・ESD活動が盛んな大学の一つです。このユネスコ活動やESD活動を、学生主体となって勉強する場所を作っていこうというのが、このESD実践勉強会の目的です。

第一回は、大阪府で現役の高校教師をしている方を講師に招き、学校現場で行われているESDを体験する活動を行いました。第二回は、奈良県立野外活動センターで、『野外活動とESD』をテーマに勉強会を行いました。この活動では、本学以外からも学生が参加してもらうことができ、他大学で行われているユネスコ・ESD活動を交流することができました。

参加者からは、「ESDを理論だけでなく体験を通じて学ぶことができた」「ESDについて真剣に考えることができた」などの意見が得られ、学生が主体となって勉強会を運営したこと、実践をベースに活動を行ったことで、より実りのある勉強会になりました。

（記事：大学院理科教育専修2回生 後藤洋介）